

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	○日常的な外出支援 入居者に高齢化に伴う身体能力低下及び職員の慢性的不足による業務繁忙の為、総体的に入居者の外出の機会が少なく、又入居者によって機会にばらつきがある。	ホームでの日常生活における外出支援によりメリハリをつけることで、身体能力の維持及び心理的な気分転換を行い、心身機能全体の活性化に結び付ける。	業務内容の見直し・効率化により買い物、散歩、ドライブ、建物内での他事業部門見学等の外出支援を日常業務スケジュールに組み込み定着化させる。又ご家族に対してもその実施状況をしっかりと伝え理解してもらおうと共に、外出支援の協力、連携をお願いして行く。	1年
2	37	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 入居者を主体においての日常のケアを行う様努めてはいるが、視点が一部の部分に偏りが見られ、入居者個人全体の意向に添っていない対応も感じている。	入居者個人の身体的能力、又はその時々 の思いを正確に把握し、入居者自身が満足でき、日々の活気と安心の生活を送っていただける対応を身に付ける。	職員は入居者の日常生活場面の様子や会話から欲求や思いを感じ、それに応えられる言動や行動をとることで、今までより広範囲に亘る視野、気付きの力や判断する力を身につける。また職員同士の日常的話し合いで情報と意識を共有し対応方法の修正をかけながら、喜びと安心を感じて頂ける入居者主体のホーム作りを進めていく。	6ヶ月
3	27	○個別の記録と実践への反映 職員からの発言が少なく、指示待ちで業務を行なっているため、入居者の小さな変化に気が遅れている。	職員の日常的会話や入居者個人記録での情報の共有と確認の意識を徹底すると共に、実践の継続と検証により職員全員の現状の共通した理解力及び認識力を高めていく。	一方通行的指示の改善や確認の徹底を会議の場だけでなく、日常の様々な場面での話し合いの中でも徹底し、職員同士の情報の共有と理解を高めていく。また記録の仕方も相手が見てしっかり理解と伝達できる文章を全員が意識する。職員一人ひとりがユニット業務全てに責任を意識し、他人任せにすることなく内外対応が出来る能力を身につける。	3ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。